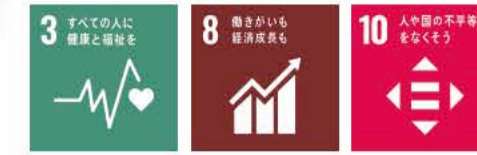


2025春闘 「積極的な賃金改善の実現」に向けて 生保協会へ早期申入れを実施!



～全組合が創意工夫をもって「さらなる収入の向上」に最大限取り組むことを確認～

2025春闘においては、消費者物価の上昇が続くとともに社会全体で賃上げの流れが加速する中、賃金改善の機運を産業全体でさらに高め、取組みを進めていく必要があると考えています。そうしたことから、今年度も早期に春闘論議を行い、11月6日の第3回中央執行委員会で、「全組合が創意工夫をもって『さらなる収入の向上』に最大限取り組む」ことを2025春闘の「統一要求基準※」の方向性として確認しました。その上で、生保労連の「基本スタ

ンス」について11月21日開催の第420回労使協議会で生保協会に申し入れました。

今後は、この「基本スタンス」をもとに「統一要求基準」を策定し、2025年1月開催の第58回中央委員会で決定する予定です。組合員のみなさんの生活の安定・向上やモチベーション・働きがいの向上をはかるべく、「積極的な賃金改善の実現」に向けた取組みを推進します。

※統一要求基準:「賃金改善・営業支援策の充実」について、全組合参加による統一闘争を構築するための基準

2025春闘における生保労連の「基本スタンス」

主な課題認識

- 消費者物価の上昇や人手不足、「人への投資」に対する考え方の定着・浸透等を背景に、社会全体でベースアップをはじめとした賃上げの流れが加速する中、賃金改善に対する組合員の期待はより一層高まっている。
- 生保産業が加速する賃上げの流れに後れを取らないことはもとより、こうした動きを牽引するよう取り組んでいくことが、結果として生保産業で働く魅力を高めることにつながる。
- 「生産性向上」が一層求められる中で、組合員一人ひとりの能力やパフォーマンスの向

上をはかる観点から、営業支援策の充実や内勤職員のスキル・専門性向上に向けた各種支援等を求めていく必要がある。

- 大きな従業員規模をもつ産業として、物価上昇を超える継続的な賃上げによる「経済の好循環実現」という社会的要請にも応えていく必要がある。
- 生保産業においても労使間でさらなる「人への投資」の必要性を早期に共有した上で、積極的な賃金改善につなげていく必要がある。

取組みの基本的な視点

「組合員の生活の安定・向上」「人への投資」を通じたモチベーション・働きがいの向上」「個人消費の拡大・下支えを通じた『経済の好循環の実現』」をはかる観点から、大きく以下の3点に取り組む。

- ① 引き続き上昇傾向にある消費者物価への対応
- ② 社会全体の賃上げ・ベアの動きに対応した積極的な賃金改善の実現
- ③ 「生産性向上」に向けた各種支援の充実

統一要求基準の方向性

全組合が創意工夫をもって「さらなる収入の向上」に最大限取り組む

営業職員関係

「実質的な収入の向上」に取り組む

内勤職員関係

「年間総収入の向上」に取り組む

経営側に向けて誠意ある対応を要請!



(11/21 第420回労使協議会)